

&lt; 認知症対応型共同生活介護用 &gt;

**評価結果報告書****地域密着型サービスの外部評価項目構成**

. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	4670103904
法人名	有限会社 ドリーム・ミソノ
事業所名	グループホーム 紫原
訪問調査日	平成20年9月29日
評価確定日	平成20年11月6日
評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま

**項目番号について**

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

**記入方法**

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

**用語の説明**

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 10月10日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4670103904		
法人名	有限会社 ドリーム・ミソノ		
事業所名	グループホーム 紫原		
所在地	鹿児島市紫原4丁目34番地31号 (電話) 099-250-2643		
評価機関名	特定非常利活動法人NPOさつま		
所在地	鹿児島市下荒田2丁目48番13号		
訪問調査日	平成20年9月29日	評価確定日	平成20年11月6日

【情報提供票より】(20年 6月 1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 10月 8日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤 11人, 非常勤 9人, 常勤換算	7.5人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り陸屋根造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円	1日 600 円
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり	1,100 円		

## (4) 利用者の概要(6月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	5 名	要介護2	1 名		
要介護3	6 名	要介護4	4 名		
要介護5	2 名	要支援2	名		
年齢	平均 80.3 歳	最低	55 歳	最高	96 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	野井倉内科クリニック 田中整形外科クリニック 礎橋歯科医院
---------	-------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市街地の小高い丘陵に開かれた、住宅団地の中に周囲の住宅とマッチして建てられているホームである。周囲にTV局や病院・学校・スーパー・公園などあり、利便性の良い環境の中で職員は利用者の立場に立ったケアを心がけ、本人と関わりながらその笑顔に癒されている。子供達との交流に力を入れ、家族はその取り組みを支援している。職員の思いと家族などとの信頼関係・地域の方との触れ合いはホームが掲げる理念を着実に実践し住み慣れた町であたり前の暮らしをしている。地域密着型サービスの充実が期待されるホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	運営推進会議は定期的開催されてホームの取り組み状況や外部評価など報告し、意見をもらうなど地域の理解と支援が得られている。職員を育てる取り組みは研修計画を作成し、外部研修は段階に応じた研修に参加して研修報告をしている。内部の勉強会も行い、職員の技術や知識の向上に努め改善課題に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価の意義を理解し、各ユニット毎に評価に取り組みケアに対する振り返りの機会としてとらえている。自傷行為のある方に対するケアはどうあるべきかを追及しサービスの質の向上に活かしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	会議は定期的開催されている。ホームの取り組み状況や外部評価など報告し、意見をもらうなど、地域の理解と支援が少しずつ得られている。すべての職員と家族などに報告し共有に努めている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	職員は、面会時や行事参加の際に意見や要望を出しやすい雰囲気づくりに心がけている。個人用スリッパを持参してもらったり、居室エアコンのリモコン設置の要望など話し合い出された要望に対応している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、地域行事(文化祭・夏祭り)にも参加している。また小、中、高生の職場体験や幼稚園児との合同運動会、敬老会、地域の方々のボランティア訪問(ギター・ハーモニカ演奏)など幅広い交流がなされている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義とその人らしく暮らせる支援を職員全員で確認し、家族や地域の人たちとの絆を重視した理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を玄関・ホールに掲示し、毎朝の申し送り時に唱和して確認できるようにしている。日々の暮らしの中で、共有に努め、ケアに活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、地域行事(文化祭・夏祭り)にも参加している。また小・中・高生の職場体験や幼稚園児との合同運動会・敬老会・地域の方のボランティア訪問(ギター・ハーモニカ演奏)など幅広い交流が行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解し、各ユニット毎に評価に仕組みケアに対する振り返りの機会としてとらえている。自傷行為のある方に対するケアはどうあるべきかを追求しサービスの質の向上に活かしている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は定期的に行われている。ホームの取り組み状況や外部評価など報告し、意見をもらうなど地域の理解と支援が少しずつ得られている。すべての職員と家族などに報告し共有に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者に生保者の支援状況を報告している。また、運営や事故報告・サービスについて相談したり、ホーム便りを持参し協力関係を築いている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月行事予定表を送付して、金銭管理や職員異動・日々の暮らしぶりや心身の状況を報告している。また面会時や電話などでもその都度報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は面会時や行事参加の際に意見や要望を出しやすい雰囲気作りに心がけている。個人用スリッパを持参してもらったり、居室エアコンのリモコン設置など話し合い出された要望に対応している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員と利用者のなじみの関係を重要視したケアを心がけている。やむをえない異動の場合には1~2ヶ月間十分な研修をしてもらい、ダメージを受けないように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修計画が作成されており、外部研修は段階に応じた研修に参加して研修報告をしている。地区の研修会や内部の勉強会に参加し、職員の技術や知識の向上に努めている。また資格取得者に支援している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に加入しており、定期的な研修会(月1回)が行われている。また利用者と一緒に他ホームの見学や交流をしたり、職員の研修を受け入れて、情報交換を行い、サービスの質の向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望の際には居宅や病院に行き面談し、利用者の生活歴、思いや不安を十分に聞いている。また見学や家族などとの来訪をお願いして、信頼関係を築き不安なく入居できるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は一人ひとりの得意とする事など(下ごしらえ、配膳、食器洗い、洗濯物たたみ)してもらい中で行事食(もちつき・料理)の作り方を教わったり、発語のない方が歌詞カードをみながら唄っている姿に感動しながら支え合っている。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で観察に努めている。口頭表現やジェスチャー、言動、表情などで思いや意向を察している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の状態や生活歴、希望を把握し、家族などの意見を聞き、カンファレンスで職員の気付きや意見を出してもらい、それらを反映した本人本位の介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的(6ヶ月毎)な見直しと担当者会議(本人・家族・主治医・職員)を行い都度の変化と入退院後の見直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族などの要望や状況に応じて病院受診や知人宅訪問、宿泊などの支援を柔軟に行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族などが希望するかかりつけ医の往診や受診を継続できるようにしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に対して、家族など・医師を交えて話し合い職員も共有している。ホームが支援できる方向性を統一した指針を定め、家族などと意思の確認を図りながら共有に努めている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者は職員に対して勉強会や日々のケアの中で常に意識付けをしている。職員採用時の誓約書もあり、利用者の尊厳を大切に丁寧な声かけや態度で対応するように努めている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(起床・就寝・入浴・レク・消灯)時間などその人の生活リズムを大切にしながら、本人の希望や状況に応じて柔軟に支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買物や下ごしらえ、配膳、下膳、食器洗いなどできる事を職員と一緒にいながら食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決められているが一人ひとりの希望に応じて入浴できるように支援している。またシャワー浴や清拭に努め利用者の清潔保持に努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(食事作り、梅干やらっきょ漬け、干し柿づくり)など一人ひとりの得意な事、好きな事に力を発揮してもらいながら生活している。またウエディングドレスを着て写真を映したり、外食や地域のイベントに出かけるなど気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的には散歩、買い物、公園で食事をしたり、外食やドライブに出かけてなるべく家に閉じこもらない支援に努めている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかける事の弊害を理解している。見守りに努め一人ひとりの行動を把握して出かける方には声かけし一緒について行くなど自由な暮らしができるように支援している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導をもらいながら年2回、昼間、夜間想定をした災害訓練を行っている。地域の消防計画書もできており地域住民の協力関係は確保されている。また災害時の備蓄もしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量をチェックして一人ひとりの状態に応じた摂取量の確保ができています。身体状況に合わせてトロミを使用するなど食材の工夫をしている。栄養バランスは栄養士のアドバイスをもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室空間は明るく清潔で換気や温度に配慮が行き届き、流し台の高さや随所に手すりがつけられて自立支援を助けている。季節行事の装飾や花壇に囲まれて利用者はゆったりと過ごしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	TV、位牌、茶だんす、ポットやコーヒーサーバー、コタツ、カーペット、机、椅子、鉢植えなど使い慣れた物品が持ち込まれて個性的な居室作りになっている。また野菜のオブジェで居室入口の表示をするなど配慮が行き届いている。		